

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2018 (平成 30) 年 第 51 週 (12 月 17 日～12 月 23 日)

今週のコメント

～インフルエンザ～咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 注意報レベル迫る」

第 51 週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は 3,245 例であり、前週比微増であった。定点あたり報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、水痘、RS ウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ 9.2、3.0、1.0、0.8、0.7 であった。

感染性胃腸炎は前週比 6% 増の 1,830 例で、南河内 18.2、豊能 9.9、堺市・泉州 9.8、中河内 9.6 である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2% 増の 595 例で、南河内 5.1、泉州 3.8、大阪市南部 3.7 であった。

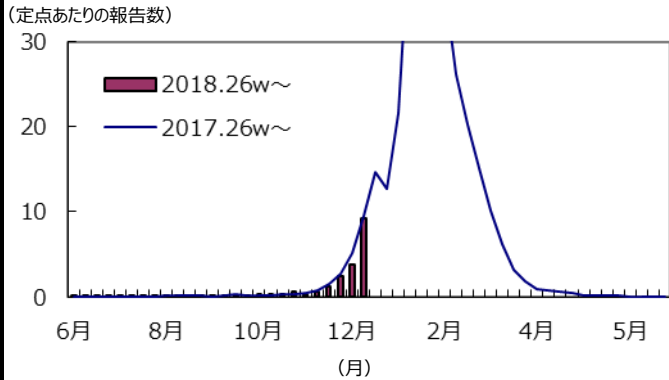
咽頭結膜熱は 7% 減の 199 例で、北河内 1.8、中河内 1.7 である。

水痘は 16% 増の 157 例で、南河内 1.4、北河内・中河内 1.3 であった。

RS ウイルス感染症は 3% 減の 138 例で、大阪市北部・中河内 1.1 である。

インフルエンザは 141% 増の 2,805 例で、すべてのブロックで増加し、定点あたり報告数は 9.3 である。大阪市西部 17.1、南河内 14.3、泉州 12.3、大阪市北部 11.3、中河内 11.1 と、5 ブロックで注意報レベルの 10 を超えている。

インフルエンザ



感染性胃腸炎

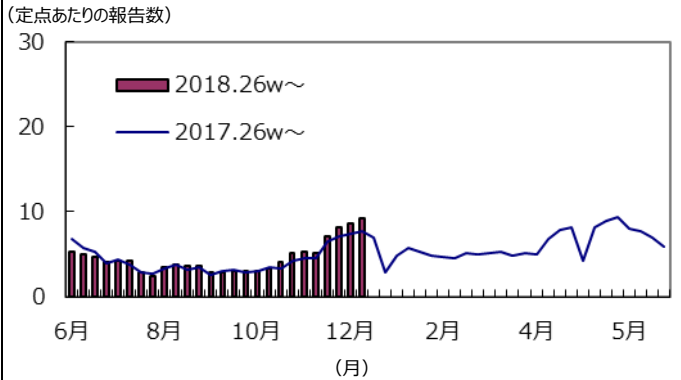


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2018 (平成 30) 年 第 51 週 12 月 17 日-12 月 23 日)

| 第 51 週の順位 | 第 50 週の順位 | 感染症 | 2018 年第 51 週の定点あたり報告数 | 前週比増減 | 2017 年第 51 週の定点あたり報告数 | 2018 年第 51 週の年齢別患者発生数最大割合値 |
|-----------|-----------|----------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|----------------------------|
| 1 | 1 | 感染性胃腸炎 | 9.2 | 6% 増 | 7.6 | 1 歳_17% |
| 2 | 2 | A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 3.0 | 2% 増 | 2.5 | 6 歳_15% |
| 3 | 3 | 咽頭結膜熱 | 1.0 | 7% 減 | 0.4 | 1 歳_23% |
| 4 | 6 | 水痘 | 0.8 | 16% 増 | 0.5 | 7 歳_17% |
| 5 | 5 | RS ウイルス感染症 | 0.7 | 3% 減 | 1.5 | 1 歳_36% |
| 参考 | | インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患) | 9.3 | 141% 増 | 9.5 | 10-14 歳_20% |

第 51 週のコメント

～梅毒～ 大阪府における 2018 年の梅毒感染者数は、1000 例を超えました

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の感染者は、2010 年より増加傾向にある。大阪府における 2018 年の感染者数は、1000 例を超え、前年比 1.4 倍を上回った。感染症法が施行された 1999 年以降、最も多く報告されている。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[感染症の話：梅毒とは\(国立感染症研究所\)](#)

(累積報告数)

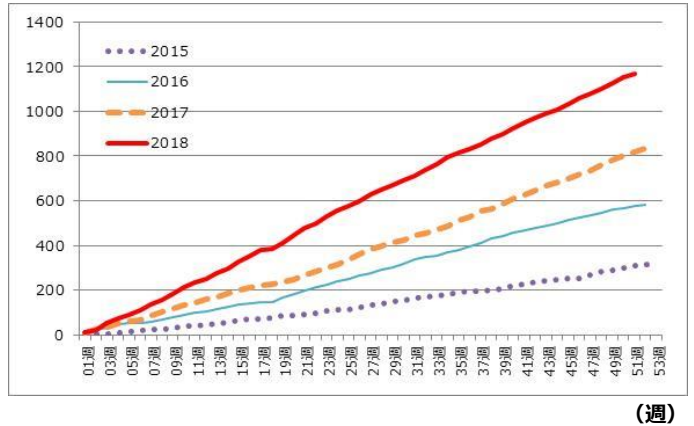


表 2. 大阪府全数報告数 (2018(平成 30)年 第 51 週 12 月 17 日 - 12 月 23 日)

*) 注意 : この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

| 疾患名 | 報告数 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内 | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 府内累積報告数 |
|------------------------|---|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|---------|
| 3 類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 2 | | | | | | | 2 | 200 |
| 4 類感染症 | 報告はありません | | | | | | | | | |
| 5 類感染症 (麻しん、風しんは除く) | 急性弛緩性麻痺 | 1 | | | | | | 1 | | 6 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 1 | | | | | | | 1 | 149 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 1 | | | | | | | 1 | 68 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 1 | | | | | | | 1 | 4 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 2 | | | | 1 | | | 1 | 268 |
| | 梅毒 | 11 | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | 7 |
| 百日咳 | 14 | | | | 1 | 4 | | 3 | 6 | 1016 |
| 結核 (2018 年 10 月分) | 結核 新登録患者数 : 160 名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 65 名) (府内累積報告数 1,508 名、内 肺・喀痰塗抹陽性 582 名) | | | | | | | | | |
| 麻しん、風しん | 麻しん 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 15 名) 風しん 2 名 (泉州 1 名、大阪市 1 名、府内累積報告数 116 名) | | | | | | | | | |

(2018 年 12 月 25 日 集計分)